

オホーツクの風

平成27年10月14日（水）医学会総会特集（0014号）

発行所

北見赤十字病院の
明日を考え支援する会
事務局

北見市緑ヶ丘1-10-16

Tel 0157-61-0684

歓迎

第51回

日本赤十字社医学会総会

ようこそ 秋色深まる、オホーツクでの出逢い



北見駅を背により中央大通りを望む、この通りを3丁ほど行くと右側に北見赤十字病院がある。

第51回日本赤十字社医学会総会が10月15日（木）・16日（金）、北見市で開催されます。医学会総会で北見を訪れる多くの日赤の皆さん、北見市の皆様を心から歓迎を致します。北見市はオホーツク圏の人口の25%ほど、12万6千人が住むオホーツクの中枢都市です。



北見特産、タマネギの収穫
平成27年9月8日 撮影

北見赤十字病院は幾多の困難を乗り越え、今日、新病院で充実した医療を地域に提供しています。北見日赤が発信す

る医療で、街は豊かな医療・福祉に恵まれ。私たちは街の誇りとしていきます。秋色深まる、オホーツクの街で総会が開かれることを喜ばしく思っています。私たちは、支援する会は医学会総会開催を機会に創立から今日までその歩みをたどり、明日に向かっ

編集後記

平成22年春、会の活動を病院や地域の皆さんにPRしようとして発行することになった。DTPソフトでの編集は今日も試行錯誤が続いています。当パネル展で、日赤医療人の皆さんに手渡しをしたく、創刊号からのバックナンバーを再編集し本特集を組みました。

当機関紙のPDFデータは次のアドレスからダウンロード出来ます、「http://itd.p.doo.jp/03sien/sien00.htm」。

幾多の困難を乗り越え、新病院が開院し、オホーツクの街での、医学会総会開催が嬉しく、心が弾みます。（逢坂）

臨床研修医 第2回 北見での思い出づくりの集い

夏の日差しのもと非日常のひとときを楽しむ



平成27年8月2日(日)、北見赤十字病院の臨床研修医の皆さんをお招きして、「臨床研修医第2回北見での思い出づくりの集い」が夏の日差しが強い野付牛公園(イチイの森)で開催。



からは焼き肉とおホーツクビールで懇親パーティ。

開催の趣旨

北見赤十字病院は臨床研修医のリクルード活動に熱心に取り組んでいます。昨年9月、大阪の大阪ATCで行われた「eレジフェア2014 in 大阪や今(左下へ)」



臨床研修医 北見での思い出づくりの集い

日時と場所:平成27年8月2日(日) 午前10時から、野付牛公園(イチイの森)

プログラム

- 10:00 イベントセレモニー
 - 自己紹介 全員(お名前のみ簡単に)
 - 歓迎のご挨拶 谷川代表(北見赤十字病院の明日を考え支援する会)
 - お礼のご挨拶 大川 陽史先生(北見赤十字病院 臨床研修医)
 - 集いへのご挨拶 廣川課長(北見赤十字病院 総務課)
 - ダンス説明 北見フォークダンス協会
- 10:10 フォークダンス開始
 - から シングル曲(大きな輪になって踊ります)
 - 11:00
 - ① トロアパンカ(ブルガリア)
 - ② マイムマイム(イスラエル)
 - ミキサー曲(ペアになって、パートナーが一人づつ変わって踊ります)
 - ③ テネシー・ウイグ・ウオーク(アメリカ)
 - ④ トロイカ(ロシア)
- 11:00から11:10 休憩
- 11:10 シングル曲
 - から ⑤ ナリノ(トルコ)
 - 11:50
 - コントラ曲(向かい合って2列に並びます)
 - ⑥ デイン・デイン・ドン(アメリカ)
 - シングル曲
 - ⑦ ベッサラビア(ルーマニア)
- 11:50 一息ついてから以上の7曲を踊ります
- 12:10 終了後、記念撮影
- 12:15 焼き肉とおホーツクビールで懇親パーティ
 - から 乾杯 廣川課長(北見赤十字病院 総務課)
 - 14:45 締め 鈴木課長(北見赤十字病院 人事課)
 - 15:45 後始末とゴミの整理、終了

以上

主催:北見赤十字病院の明日を考え支援する会
協賛:(株)坂口精肉店・味覚園(栄町店)(焼き肉提供)
協賛:オホーツクビール(株)(オホーツクビール提供)
後援:北見フォークダンス協会(フォークダンス指導)

年、北海道の臨床研修医・合同プレゼンテーション2015札幌などのイベントで病院の専用ブースを作り、鈴木人事課長が中心になり全病院的にリクルード活動を展開しています。

病院は今年度の臨床研修医の受け入れ枠(10名)のフルマッチを達成しました。

北見赤十字病院を選出した臨床研修医の先生方は慣れない北見の地で、懸命に臨床研修に取り組みんでいます。北見での研修が少しでも楽しんで

私達は北見赤十字病院に多くの医師が勤務する医療環境に恵まれた街で暮らしています。感謝です。

日頃、ご苦労の多い先生方、そして先生をサポートするスタッフの皆さんをお招きして、フォークダンスと親睦パーティで、非日常のひとときを楽しんでいきます。

昨年は8月末に開催を致しました。お陰様で評判が良く、病院の皆さんからリ(3面につづく)

クエストも戴き、今年、春からその準備を進めてきました。そして今回、「臨床研修医 第2回北見での思い出づくりの集い」を開催することになりました。

お天気に恵まれて

昨日まで雨と曇りの日が続いていましたが、今日は晴れた絶好のイベント日和です。

臨床研修医の先生方・10名、歯科衛生士の皆さん・3名、臨床検査技師さん・1名、総務課長さん、人事課長さんほか事

仲良くダンス研修医激励

市民団体「北見赤十字病院の明日を考え支援する会」(谷川勝男代表)は2日、北見赤十字病院(吉田茂夫院長)で働く研修医を激励するための「北見での思い出づくりの集い」を北見市の野付牛公園で開催した。研修医10人と支援者、病院職員ら計40人以上が、晴天の下で焼き肉やフォークダンスなど楽しいひとときを過ごした。(梅原泉)



北見日赤支援の会が集い

北見赤十字病院(野付牛)で集い

北海道新聞 平成27年8月3日

務部門の皆さん・8名、北見フォークダンス協会の皆さん・10名、当会のメンバー・11名、みんなで44名が午前の日差しが強い野付牛公園に集い、賑やかです。イベントセレモニーがプログラムに従って進み、心地よいリズムの音楽が公園に鳴り響きます。先生方は北見ダンス協会が用意したコスチュームを身に付けてご機嫌です。最初は少しぎこちなかったのですが、若い先生方をはじめ



皆さん、愉快地フォークダンスを楽しみました。途中の休憩で、氷を入れた飲み水のタンクで水分を補給して7曲を踊りました。

正午からは焼き肉とおホーツクビールで親睦パーティーです。今日のオホーツククラフトビールはエールです。



少しオホーツクビールが回った処で、臨床研修医の大川陽史先生の乾杯です。楽しい交流が続き、盛り上がった処で、森實副会長のご



厚意で、北見トヨペット(株)から景品の寄贈があり、その抽選を先生方を優先に行いました。抽選のお手伝いはもりぎねにいな(小学3年)ちゃんにお願いして。いにちちゃんからそれぞれに景品を手渡して戴きました。いにちちゃん、ありがとう。最後に鈴木人事課長さんの一本締め

お開きと成りました。

協賛への感謝

(株)坂口精肉店(社長坂口政義)さんが当会の趣旨に賛同して焼き肉料理を無償提供して下さいました。またオホーツクビール(株)(支配人大石祐司)さんがオホーツクビールを無償提供して下さいました。

当日は味覚園栄町店・阿部店長さんが焼き肉料理やその資材の搬入・搬出を。またオホーツクビールのご担当の方にも大変お世話になりました。

今日のフォークダンスは北見フォークダンス協会の皆さんにお世話になりました。今回のイベントにご協力を戴いた関係の皆さんに、本紙上をお借りして、厚くお礼を申し上げます。有り難う御座いました。



器材ケースに白布をかけ、看護大派遣スタッフと
こころのケアに取り組む臨床心理士・澤田さん

救護班が器材を北見から持ち込み設営した仮設テントの診療所。被災
に遭われた方が診療に訪れ感謝された(旧釜石第一中学校敷地内)



空気はよどみ、体調不良を訴える人が多い、ここに避難している方を
往診(旧釜石第一中学校体育館避難所、この隣に診療所がある)

悪天候のなか救護活動は続く(避難所玄関)



写真 特集

釜石救護班

写真提供

北見赤十字病院
会計課 主事
遠藤福之さん



多忙な救護活動のなかで近隣の避難所に往診する救護スタッフ



感謝していますとお礼のお菓子を



救護班の安全と健康を願って、南館玄関(3月26日)



医師、看護師そして専門スタッフが全国の日赤・医療機関から派遣され結集。病院は3名の看護師を派遣。食料・生活必需品をパックした大きな重い荷物を抱え、自己完結型で集合。一元的に連絡・調整が行われ石巻圏の避難所の医療救護、石巻日赤の医療支援に就く(石巻圏合同救護チーム本部、石巻日赤内)



廊下の固い床の上でつかの間の仮眠

写真特集

石巻赤十字病院
看護支援

写真提供

北見赤十字病院
看護部 副部長
佐々木敦美さん



被災に遭われた多くの方が来院。さらに救急の患者さんがひんぱんに搬送されて来ます。病院の玄関ロビーにブルーシートを広げ、毛布を敷き、そこで診察を待ち診療を受けています。待合ホールは緊急のベットサイドになり、診療・治療がエンドレスでつづきます(石巻赤十字病院、3月17日)

オホーツクの風

平成23年1月21日(金) 新年号(0004)

発行所
北見赤十字病院の
明日を考え支援する会
事務局
北見市緑ヶ丘1-10-16
Tel 0157-61-0684

地域医療を考える

日赤の病院改築を機会に

平成20年1月、北見赤十字病院の内科医6人全員が退職、4月からの内科の診療を一時休止をしなければならぬという地域にとって衝撃的な問題が起きました。あれから3回目の新年を迎えました。

日赤は北見市より病院建設用地の無償貸与として多額の財政支援を受け、昨年2月、新しい病院の建設を決定しました。昨年12月には「こんな病院にしたいプロジェクト実行委員会(会長・古屋聖児北見医師会会長)」が立ち上がり、当会の谷川代表も委員になっています。現在、建設に向けて作業が急ピッチで進んでいます。さて当会は昨年1月に発足。2年目の新年を迎え、今年の新一年一つに「地域医療」を

考えています。地域医療といつてもいいまい具体的な考えがわきません。上段(表・地域

☆地域の経済を活性化する

- メディカルシティ構想
- 1. 医療ツーリズム
- 2. 医療コンベンション
- 3. ナノメディシン・ナノ医療

(表・地域医療)

☆地域の人々の健康を守る

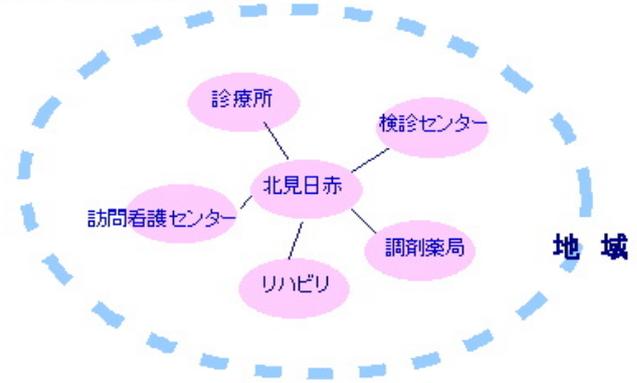
1. 病気を診断し治療する
2. 病気を発見する
3. 病気の悪化を防ぐ
4. 病気を予防する
5. 患者のQOLを高める(緩和ケア、看取り)
6. 健常者以外の人の精神的ささえをする

医療)にその素案を標示しました。これをたたき台に話し合いを続けます。

もう一つの取り組み

は「医療連携」です。日赤と一部の診療所で実施されていますが、私達が考えているのは日赤の勤務医の先生と診療所のかかりつけ医の先生が顔の見える信頼の関係を築いてくれることです。患者の情報を共有して症例の勉強を重ねることや交流で、お互いの「信頼」が醸成されます。診療所の先生が患者の病状に異変を感じた時はすぐにいつでも日赤へ連絡をします。紹介を受けた日赤の先生は病院のそれぞれのスタッフと診療の準備を進めます。患者情報を共有し最適な治療方針をたて命の尊さと向き合います。この仕組みが地域

「ひとつの病院のように」



(図・地域完結型医療連携)

二年目の新年を迎えて

代表 谷川 勝男

一年が過ぎてやっと北見赤十字病院と医療のあれこれを学ぶための入口に立つことができた、ということになるでしょう。

ちや心くらは手で動かしたい、かんたんにリセットできないものをこそ大切にしなければと思つたのです。

21世紀は地域医療そして医療連携の時代といわれています。今、私達は北見からその文化を発信します。

ケータイのメールで離婚をする人たちがいるというのを聞いて思つたのは、せめて気持ち

が評判になりましたが、その前に「看取り」があつて、看取られるまでの旅の途中、医療

新しい年、それぞれの場を考え、話し合っていければと願つてやみません。

オホーツクの風

平成22年4月6日(火) 創刊号

発行所

北見赤十字病院の
明日を考え支援する会
事務局

北見市緑ヶ丘1-10-16

Tel 0157-61-0684

日赤の現状を知る

支援の一步をふみだす

北見赤十字病院の明日を考え支援する会・略称日赤を考え支援する会以下当会といいますが、当会が発足して3ヶ月が過ぎようとしています。その間役員が中心になり当会の運営について試行錯誤の議論を重ね、当面の課題を支援する北見赤十字病院(以下北見日赤と言います)の現状を知ることによって認識が一致しました。

毎月第二火曜日に定例の役員会が開催され、この打ち合わせには北見日赤の総務課長さんにご足労を戴き、勉強を続けています。一般的に法人・団体のことを知るには決算書だといわれます。北見日赤を知るには決算書を手し、決算内容を読み解くことです。現在は平成20年度の資料を基に作業を進め

ています。あと2ヶ月もすると(1)一般会計、平成21年度歳入歳出決算(収支計算書)(2)医療施設特別会計、平成21年度歳入歳出決算(損益計算書)が発表になります。正式な読み解きはこの資料で行う予定です。

同時に道内の公立病院の決算も調べています。特に財政支援をどのくらい受けているかが解るように表にまとめている最中です。今問題になっている財政支援については、公立病院に関する財政措置、病院事業等に係



オホーツクのロマンに誘う流水ノロッコ号(写真:逢坂信治)

わる地方交付税措置などの勉強からはじめていきます。どこまでまとめられるかわかりませんが、皆で頑張っているところですよ。

難解な医療制度そして数字を扱う作業が多くて頭が痛くなり、作業が止まる事もありますが、そんな時、谷川代表が愉快にのんびり進めましょうと声をかけ、作業は進んでいきます。

北見日赤との信頼関係を更に深め、膝をつき合わせた本音の対話を推し進め、情報共有

創刊号によせて

代表 谷川 勝男

読書グループ「木よりの会」が始まったのは五十年前、北斗高校文芸部の現役OBが一堂に会してガリ版刷り「裸心の会」をつくりはじめたのも同じ頃、仲間の一人に長野県佐久病院の若月俊一先生にあこがれて保健婦になった女性がいました。

くり返し語っていた彼女の熱い思いを、今、思い返しています。現在、老人医療費が全国一安く、住民の5割以上が在宅死を迎えられるのが長野県、すべて地域医療の確立を目指した若月俊一先生のお仕事があつてのことです。

「支援する会」の小さな、あまりに小さな旗のむこうに夢見るのは、北見赤十字病院が、道東の佐久病院として「予防医学」をにない、住民の「生」と「死」をケアする大きな旗を振って下さることで、この「オホーツクの風」が、心ある人々にとどくことを願ってやみません。

を目指します。医師、看護師、コメディカルの医療スタッフにどんなエールを送る事が出来るのか、日赤と街のお医者さんと地域住民がどんな連携を出来るのか。北見日赤への医師の招致などまちづくりの面からどんな支援が出来るかなど患者であり市民である私たち会員に課せられた課題は大きいのですが、構想は大きく、着手は小さな小さな一歩からと受けとめて、その一歩を踏み出したところですよ。

会からの伝言

「北見赤十字病院の明日を考え支援する会」は発足総会を平成22年1月29日午後6時30分より市民会館で開催し、今年度(平成22年度)の役員を選出しました。

代表 谷川勝男▽副代表 逢坂信治、森實和美▽理事 荒田悠、表宏樹、菅野幸子、齋藤高明、松岡清子(五十音順)▽事務局長 阿久津俊子▽会計 阿司春江▽会計監査 阿部治夫

病院の出来事と会の歩み

年代	北見赤十字病院	北見赤十字病院の明日を考え支援する会
1935 (昭和10) 年	11月 大日本赤十字社北海道支部野付牛療院が開院 (現北見赤十字病院の創業)	
2008 (平成20) 年	1月 全内科医 (6名) の退職、病院の危機・地域は不安に 3月 吉田茂夫氏が院長に就任 5月 神田北見市長に北見市庁舎跡地活用を要望	
2009 (平成21) 年		11月 北見赤十字病院の明日を考え支援する会発起人会
2010 (平成22) 年	1月 「北見赤十字病院・新病院整備に関する要望書」 を提出 (市庁舎敷地の無償貸与と財政支援) 2月 北見市と北見赤十字病院が 新病院建設に関する覚書を締結 2月 日赤本社、北見病院改築を承認 北見市役所跡地に平成26年開院 確定	1月 第1回院内見学会 1月 設立総会、講話 管理栄養士 村田千恵子先生 4月 機関紙「オホーツクの風」創刊号発行 7月 機関紙「オホーツクの風」第2号発行 7月 第2回院内見学会、講話 吉田院長先生 10月 機関紙「オホーツクの風」第3号発行
2011 (平成23) 年	3月 東日本大震災 医療支援に救護隊出発 5月 新病院の基本設計発表	1月 平成23年度総会、講話 脳神経外科 高杉和雄副部長 1月 機関紙「オホーツクの風」第4号 4月 東日本大震災の支援報告 佐々木看護副部長・遠藤会計主事 5月 機関紙「オホーツクの風」第5号発行 12月 ビデオ「東日本大震災当日とその後の石巻赤十字病院 の様子」企画課長・日赤地域医療連携室参加
2012 (平成24) 年	6月 新病院 起工式挙行 施行 清水・北成・村井・松谷 特定建設工事共同企業体	1月 機関紙「オホーツクの風」第6号発行 1月 講話 「日赤病院の現状」吉田茂夫院長先生 2月 平成24年度総会、講話 副院長 三河誠小児科部長 2月 石巻日赤病院 飯沼一宇院長先生 講演拝聴 6月 新病院起工式 谷川代表出席 7月 講話「日赤病院の看護師の取組み」八谷看護副師長 8月 機関紙「オホーツクの風」第7号発行
2013 (平成25) 年	5月 ドクターカーの運行開始	1月 機関紙「オホーツクの風」第8号発行 2月 平成25年総会、講話 副院長 荒川穰二麻酔部長 4月「AEDを使った心肺蘇生の救命処置」佐藤圭悟総務課主事 4月 ドクターカー運行披露式典 取材 5月 講話「臨床検査って？」 廣川亨総務課長 7月 藤江内科クリニック訪問 8月 機関紙「オホーツクの風」第9号発行
2014 (平成26) 年	4月 「オホーツクPETセンター」のオープン 12月 新本館開院	10月 臨時総会 (賛助会員について) 1月上野看護師長さんを囲んで 講話と懇談会 2月 機関紙「オホーツクの風」第10号発行 2月 平成26年度総会、懇談「PETセンターはオホーツクの宝物」 吉田院長、武内北見市医療対策室長、支援する会会員 3月 FMオホーツク放送 吉田院長先生と逢坂副代表出演 3月 オホーツクPETセンター竣工披露式典 5月 PETセンター見学会 8月 臨床研修医「北見での思い出づくりの集い」第1回開催 9月 臨床研修医の先生を囲んで懇談会 10月 機関紙「オホーツクの風」第11号発行
2015 (平成27) 年	6月 新北館新装工事竣工 10月 第51回日本赤十字社 医学会 総会 (北見市で開催)	11月 北見赤十字病院本館落成記念式典 代表出席 内覧会 3月 平成27年度総会、講演と懇談「がん最前線緩和ケアとは」 後明郁男緩和ケア内科部長 安藤師長 部川師長 4月 機関紙「オホーツクの風」第12号発行 6月 新北館改装竣工、歯科口腔外科開設、内覧会 8月 臨床研修医「北見での思い出づくりの集い」第2回開催 8月 機関紙「オホーツクの風」第13号発行 10月 第51回日本赤十字社 医学会 総会 協賛 パネル展 「北見赤十字病院の明日明日を考え支援する会」の歩み